自然
森林環境保全
生活

もりびと

設立10周年記念誌

いしかり森林ボランティア
「クマゲラ」

やまごあいさつ　～「会長・事務局長」

今日、ここに、いしかり森林ボランティア「クマゲラ」設立十周年を迎えるにあたり「記念行事」に併せ「記念誌発行」をすることになり、これまでのご支援ご協力いただいた皆々様と全ての方々へ心より深くお礼申し上げます。

さて、「十年一昔」のことわざは、私にとっては昨日の出来事のように、脳裏と体にセットされております。この十年間を語り、履歴を伝えることをひとつの節目として自分の出来る範囲内で期待に応えるよう、編集には会員の協力を得ながら役割を果たしていきたい。

職業・環境・思考を異にする者達が森林保全を掲げ、森林ボランティア組織の成熟に歳月をかけ今日「クマゲラ」を築き上げました。この10年の道程を、この機会にあらためて、振り返ることには、次のステップにつながる情報（課題・改善・技量）があると思います。

設立から今日に至る政治経済、社会、森林を取り巻く諸情勢・動向らについては重複するために省略いたします。国の未層有とも言われる東日本大震災、2011・3・11・原発事故が発生し多くの方々が被災されました。

この東日本で亡くなられた方々へのご冥福と被災者に心からお見舞い申し上げ、早期復旧復興と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

～人災・自然災害の恐ろしさ～平和も脅かす～。

私的回顧録になりますが「クマゲラ」の、この十年『森に関わる』多くの施業活動・体験・知識・研修・行動・会員者間の信頼を糧にし、百六十名の礎の皆さんの「尊い志とご尽力を」大切に、更なる円熟と発展を願いつつ会員一致団結して頑張りたい。

「クマゲラ」誕生に携わってから今日を迎えられる、森人のエネルギーの源は仲間から　山から　市民から　関係者から　元気をもらい～人との絆・森とのきずな・地域のきずな・自然界の絆

『目の前の　小さな現象に　目を奪われて　遠い目標を　失ってはならない』

東久邇宮稔彦のことば

今にして、想うに、私に森に携わる仕事を与えてくれた、設立当時の背景からの「天命」だったのかぁ－と考える…

この詞を～多くの諸活動を通じ反省と教訓のなかから漸く「わかる」年齢に達しました…～おそいなぁ～。

行政機関のきずな等を守りつつ、これから森羅万象の想いを実のあるものにしていきたい。

私達の、森林ボランティアは無理な背伸びをしない「クマゲラ」スタイルを基本にローカル版の森林ボランティア団体として未来に伝える何かを絶えず追求し、活動に励んでいきたい。

今のくらしを守り、快適に、豊かにしてくれる森林、そして恵みを私たちやさまざまな生物が将来にわたって上手に利用していくのには何が必要か問い直し、一人ひとりが描く森林像が求められております。会員、市民、関係者らで四方山話をしながら森の仲間を増やしましょう。

最後になりますが、この十年の会員一同の協力と行政機関、ニトリ企業商社、友好諸団体のみなさまからご指導とご支援をいただき心から重ねて御礼をもうしあげます。

「クマゲラ」は、また明日から二十年へ向けて長い旅を歩み続けます、北の大地を力強く羽ばたくよう務めさせて戴きます。

本日はありがとうございます。

目　次

会長挨拶（やまご） …… 1
設立 10 周年記念誌作成にあたり編集会議より一言 …… 3

「クマゲラ」創立 10 周年記念行事に寄せる言葉 …… 4

北海道知事　高橋　はるみ …… 4
石狩市長　田岡　克介 …… 4
北海道石狩振興局森林室　会津　有峰 …… 5
財団法人　北海道森と緑の会理事長　堀　達也 …… 5
北海道開拓記念館学芸第 2 課学芸員　青柳　かつら …… 6
石狩花と緑の協議会会長　神　伸夫 …… 6

アカマツの章　「クマゲラ」のあゆみ・あしあと・すがた …… 7

クマゲラ誕生と名称の由来 …… 8
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」のあゆみ …… 9
協　働 …… 13
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」＆礎のみなさん …… 14
謝　意 …… 15
「クマゲラ」褒美と会員プロフィール …… 16
「総括」数値年表から見るあゆみ・施業・活動実績 …… 17
1013 林班・28 小班の「豆知識」 …… 19
石狩市民 21 世紀市民の森づくり事業「紹介録」 …… 20
森林サポートの森づくり事業「紹介録」 …… 20
ニトリ＆いしかり「千年の森」1017 林班 57 小班の「豆知識」 …… 21
「巻枯らし間伐」で線香林をよみがえらせえる …… 22
「石狩市協働事業提案制度」キノシュ木育成里親運動 …… 23
みんなの暮らしの身近に保安林がありますよ …… 24
「クマゲラ」雑誌・機関紙・マスコミ掲載紹介 …… 25

カシワ「槲」の章　「クマゲラ」活動録と森人 …… 27

活動年表から見る「クマゲラ」のあゆみ　2003 ～ 2012 年 …… 28

ミズナラの章　「クマゲラ」なかまの思い・想い …… 47

なかまのよせがき …… 48
・渡辺　小枝子・関　英子・寺山　弘子・波多野　幸子 … 48
・石井　滋朗・竹川　彩子 …… 49
・横山　眞理・安達　俊幸 …… 50
・愛澤　桃美・中川　進・なかまの他の団体紹介 …… 51
・大井　欣悟 …… 52
・若松　隆 …… 53
・渡辺　邦雄・小西　希一郎 …… 54
・佐藤　武三 …… 55
・クマゲラ通信より …… 56
・関　勘悦・石川　あきら …… 56

・愛澤　桃美・羽田　雅俊 …… 57
・大井　欣悟・安達　俊幸 …… 58
・若松　隆・佐藤　武三 …… 59
・三和　勉・田守　茂子 …… 60
（故）小林　邦洋・平成 25 年度定期総会写真 …… 61
・珍プレー・好プレー …… 62

カツラの章　「クマゲラ」の気まま自然紀行と資料 …… 63

自然紀行　春夏秋冬 …… 64
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」活動心得 …… 68
ヤマ仕事への備えは… …… 69
北海道・石狩地域の主な樹木（種類）分布調査一覧表 …… 70
自然の恵み「きのこ編」野生きのこ分布調査 …… 71
巻枯らし間伐施工実績報告 …… 72

いちい「一位」章　「クマゲラ」未来への（あした）展望 …… 73

佐々木　隆栽・澄川　典弘 …… 74
重田　康男・岩本　隆行 …… 75
みんなの夢から未来がはじまる…　提言者　関　勘悦　会長 …… 76
はだでわかる木の名前 …… 79
ヤマシャクヤク自然界の観察記録「クマゲラ図鑑より」 …… 80
終わりに …… 80

いしかり森林ボランティア「クマゲラ」設立10周年記念誌作成・編成にあたり一言

1 記念誌作成基本資料は、①毎年定期総会議案書　②各年度事業報告書　③活動事務局編　④活動参加者名簿他　⑤事務局便り及び「マゲラ」通信事務局情報収集等から作成構成する。

2 公的機関紙・パンフレット・会議資料・事業らの一部引用。

3 誌内写真利用は、自写と一部静止画像（テレビ）らの引用。

4 記念誌立案企画～文書・構成・編集・資料等事務局が行う

5「クマゲラ」記念誌発刊と構成編集目指すものは

① 「クマゲラ」誕生から履歴と事実を伝える
② 「クマゲラ」の実績とあゆみと姿を伝える
③ 会員はじめ関係者に「クマゲラ」を広く知ってもらう
④ 次世代の会員に伝える
⑤ 森林ボランティア分野の関係者（機関）との「協働」の事実を伝える（情報発信）
⑥ 会員、関係者の思い出となるアルバム風企画する
⑦ 「クマゲラ」独創風の記念誌の構成と編集資料を添付
⑧ 表現・写真・固有名詞には、一定の配慮をしました。
⑨ 会員が多くの参加と投稿記事を募る
⑩ 表現・用語・漢字・名称・数値・脱字・文章校正（構成）等など不都合な点はお許し下さい。

今回発刊する、いしかり森林ボランティア「クマゲラ」設立10周年記念誌が多くの人々に「あいされる」記念誌となり関係者の脳裏の「ひとこま」に残してもらえれば幸いと存じます。

事務局より一言お願いと、記念誌発刊に協力いただき、ありがとうございます。

アカエゾマツの章

北海道指定樹木

「クマゲラ」の歩み・あしあと・すがた

【お詫び】下記の活動項目等は編成枠の都合上から省略させていただきます。尚これらの補間する資料は、『カシワ章「クマゲラ」活動録と森人』を参照すればご理解出来るかと思います。

・キノシュ育苗関係　・体験他の関係　・交流会関係
・行　政　関　係　　・技術支援関係　・そ　の　他

『クマゲラ』誕生と名称の由来

石狩市民が期待の森林ボランティア誕生する

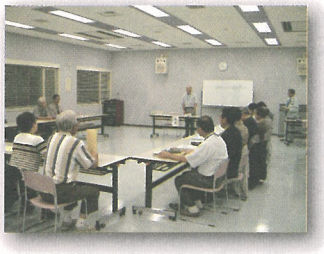
平成15年9月10日午後5時より石狩市役所会議室に於いて、「森に対する志を共有する仲間の34名（本人出席25名・来賓8名）が集い設立総会を開催する。

事務局（石狩森づくりセンター）からの石狩市の森林の現状報告と森林ボランティアの必要性述べられて、基本的な考え方趣旨に全員一致の賛同をえる。

当日は知らぬ同志の初会合という緊張感と空気の中で、2ケ月の行動計画を承認し、スタートラインにたつ。

会則、計画書及び収支予算書もないなか役員選出にも代表1名を選ぶという、変則的な運営であったが出席者のご理解をいただき 後日正式に役員体制づくりと組織の軌道づくり加速化を進める。

構成員は、職業・環境を異にする者達が森林保全を掲げ、石狩市史の一ページを飾ることになる。歩みだすと仲間の出会いと歴史の開幕となった日…。



設立総会風景

あのころの情勢は…

国土緑化推進委員会（当時「21世紀の森づくり委員会」まとめられた提言書は『21世紀へ…国民参加の森づくり』の言葉が『公』となり・制度改革・政策・行政・普及事業と進展をはかり、国民参加・市民参加の追い風となる。それらの動きに官民が一体となって森林保全運動が芽生え発展の兆しが各地みられるようになる。

他方では、バブル景気の崩壊に喘ぐなか、平成6年京都議定書発効され、いちやく地球温暖化防止対策が世界共通の課題としてとりあげられるようになる。

とくに森の持つ「機能・多様性」役割と森林に対する期待の高まりと森林ボランティア活動が国内に次々誕生する。森が人を結び付け、人を育てるという新たな一歩がはじまる。

時代の推移によって「野生生物保全」「?エコー」「協働の森づくり」「自然景観」「里山」「森林との共生」など等の主題が今も続く…

平成に入り道内にも森林ボランティア結成の動きも活発化し、北海道行政も「森づくりセンター」通じて積極的に普及活動を推進され組織づくりの指導・支援を行うようになる。

私個人も森林ボランティア組織化の夢を熟成しつつ、札幌市・町内会の組織の誕生に努める。『教訓』～森づくりは人づくりから～

設立までの経緯と組織名称について

一、平成15年春に道の出先機関より森林ボランティア会員募集の「チラシ」拝見し・家内と二人加入申込みをする（町内会回覧）。その時点の締め切りで、7名の申込みで事務局側（石狩森づくりセンター）も思案といろいろ検討の末に機関から組織化への協力要請をうけました。

当時、私（関）は地元の石狩市「桜の会」結成2年目・札幌市在所の森林ボランティアの活動の最中要請を受け入れ行動開始。機関の要請を受け、5ケ月を要しながら又いろんな経緯を経って、34名の会員を募り、設立総会準備ができました。（以下詳細省略）

二、『名称』いしかり森林ボランティア「クマゲラ」とする

右を平成15年10月5日正式名称が決る

地名・目的・組織名から成り立つ組織名称を「クマゲラ」とし、由来は左記の内容で案を承認する…「クマゲラ」～はばたく瞬間

天然記念物

絶滅危惧具種

呼び名の響き

呼びやすい（好印象）

・深山深く広大な大地を力強く舞う（生きる）姿・さえずりに「クマゲラ」会員・組織の大きな夢を託す～。

・森林ボランティアの力を

世の中が認める時くる～

いしかり森林ボランティア「クマゲラ」の歩み～1

一、「クマゲラ」誕生の芽生えと活動趣旨

私たちの身近な森林（山）の荒廃ぶりを「まじか」に見て、驚きと深刻な状況を知り、その要因又は背景の事情を考えた時に、これを誰が手入れするの「？」と懸念を抱く。石狩市・道内の至る所の森林（山）が荒れ放題と「離農・過疎・地権者不在」という、社会状況下にあって、私達、市民の素人が「何が出来るか」を考える仲間が「点から線」へと行動が芽生えて行き現実味をもつようになる。～石狩市民に一石を投ずる～

設立までの経緯、背景については、8頁に記載してあります（省略）

私有林視察

市有林 13 林班

サポートーの森
「道民の森」当別町

二、森に関心と「志ある者」が行動をおこす

前段に述べたことに、具体的に参画・実践するには、先ずは十人十色を持つ仲間の「心意気・希望・夢」を知った上で、会員の心得・活動 指針・安全第一。人の和づくりの項目を確認し合いながら歳月をかけ内容充実に努めました。先の各項目の積みかねから「森林環境保全・自然環境保全・生活環 境保全」『地域社会の協働・次世代につなぐ活動』の活動理念を掲げるに至る。

特に、初心者経験者問わず次の合言葉を訓育としています。

▼仕事七・遊び心三　▼無理をしない　▼出来る仕事をする
▼強制はしない　▼失敗は恐れずに　▼単独行動はとらない
▼作業競争意識を持たない　▼安全は人が与えるものではない、自分で安全をつくるもの

設立1～2年は、作業・活動前には毎回ミニ講座・打合せ・指示・体操の繰り返し、指導等などを受け、体験知識の習得と「やまご」の体づくりに励みながらも、一歩前へ出る行動姿勢へと育んでいく。

三、森づくり活動（施業）とフィールドについて

初秋の「道民の森」のサポートの森区域に、「クマゲラ」設立記念植樹に山取り苗300本の植樹が行われたのは苗木の育ての親となった瞬間でした。参加者の殆んど初めての体験と、新しい人との出会い、感動と満足感の笑顔で家路に着いて、各々の家族団欒の話題になり、賑やかな一夜になったと想います。

～10月5日記憶の録画が再現されます～。

組織も軌道にのり、自力のプログラムを組み、基礎的な ①測量 ②枝打ち ③間伐 ④下草刈り ⑤地拵え ⑥巻枯らし間伐（樹木） ⑦安全意識 ⑧機械の取り扱い ⑨キノシュ木育里親運動等を体験と知識を得ながら森林保全管理の森林ボランティアの意識の高揚が高まっていく。活動拠点となるフィールドも石狩市有地を始め、次々と保全整備必要な森林（山）情報が入るようになった。その（主に施業関係）具体的なフィールドを紹介すると次の順になります。

1、サポートの森（当別町一番川地区）道民の森　約2ﾍｸﾀｰﾙ
2、石狩市有地13林班28小班（トドマツ）無整備の森林9.8ﾍｸﾀｰﾙ
3、石狩市21世紀市民の森づくり（地名　八幡町シラトカリ）2.5ﾍｸﾀｰﾙ
4、私有林（沖田　所有）複雑な案件が発生し、整備中断し撤退をする
5、石狩市厚田公園キャンプ場（トドマツ林）3.0ﾍｸﾀｰﾙ？
6、石狩市「あつたふるさとの森公園」一部　千年の森（略称）石狩市厚田区小谷1017林班57小班「9.2ﾍｸﾀｰﾙ」未利用地原野
7、その他（一）間接的活動場所 ①札幌市南高校学校林 ②茨戸川歴史の森づくり ③さっぽろふるさとの森づくり ④夕張紅葉と桜の市民植樹祭（ニトリ） ⑤石狩市防風保安林（一部保全管理）
8、その他（二）森林施業に関する各種イベントについては、省略し、別途関連必要欄に事項を記載いたします。

いしかり森林ボランティア「クマゲラ」の歩み～2

設立当時の研修会

21 世紀市民の森植樹

13 林班活動日

「ニトリ」夕張（桜）植樹祭

各フィールドには、其々の環境・条件が異なり、手引書・プログラム・工程表等などのお膳立てがないのが実態で、それを如何に瞬時に目標を定め、企画立案（財政・体制）、施工、実績を作り上げるか現場責任者の能力と判断力が問われる場面が多々あります。

幸いに単年度事業（又は中期計画）実施段階で若干の遅れがあるものの会員の御尽力と協力のもと順調に推移するかたわら関係機関・団体そして民間企業との「市民・企業・行政の三者協働の森づくり」が実現されて現在に至る。

森林施業面（技術含む）では、現在のフィールドの森林整備・植林などは、計画（中長期）に対し折り返し地点にあり、概ねあと2～3年で骨子事業完了を目指しています。

過去もこれからも ①いしかり森林ボランティア「クマゲラ」会員の心得 ②山仕事の備え ③訓育の合言葉を警笛しつつ、業（技）・機械力・体力・自然条件・作業手順らを踏まえて、日々の活動を通じて琢磨の半ばにあり、技には終わりなき継続が続く。

～企業・行政関係者のみなさんに、厚くお礼を申し上げます～

市民参加の植樹祭

活動日の打合せ

地拵えと植樹（会員）

千年の森ミニ技植樹

四、森林に係わる普及活動のあゆみ

森林は私たちの暮らしの礎と、それは今も昔も未来も変わりません。そして地球温暖化防止に期待する森林の大切さを民に呼びかける市民運動として位置づけ メニュー・プログラム（工程表）・テクニック・ニーズなど多様な事柄に対応出来る山道を探し、次世代につながる普及活動重要性を継続したい。「クマゲラ」に関しては以下通りです。

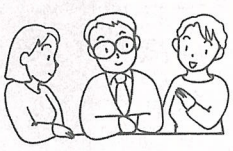
（一） 設立当時は、パソコン・デシカメ、・Fax等の情報発信の手段がない時を経験し、いち早く ①「札幌広域圏組合」の支援を受け・ホームページを開設し 以後支援機関の移動があって現在に至る。

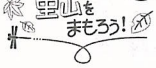
ワープロを使用（後にパソコン）しながら ②「クマゲラ」通信を発行開始（16年初）以降57号に至る。 ③イベントなどには森に関する参考資料臨時版発行 ④定期総会議案別冊に森に関する参考資料を作成配布 ⑤事務局便り兼森に関する情報資料を配布 ⑥北海道・出先機関及び関係団体の参考資料の配布なども心がけて一人の胸におかずに広く多くの人々に渡るよう務めている。

（二） 市民対象（自主・共催・協働）の事業

市民対象の活動は項目件名のみとして順をもって述べさせて戴きます。

☆ きのこ野外教室 （15．10＝当別町）
☆ 森林教室「森林保全管理整備について」（16．1）
☆ 石狩市公民館まつり （16．2）
☆ 道民の森づくりネットワークの集い （16．2）
☆ 里山づくりセミナー （16．4）
☆ 山菜野外教室 （16．5）
☆ 石狩市文化祭 （16．10）
☆ 寺子屋教室「樹木から見る石狩」セミナー （17．1 内藤）
☆ ふるさと学習講座支援ガイド （17．5）
☆ セミナー「環境と森林の役割りについて （17．1）
☆ コミュサポ事業団体交流会「クマゲラ」活動報告 （17．3）
☆ 第5回石狩市民植樹祭技術支援活動 （17．9）
☆ 和かんじきつくり技術支援活動 札幌市 （18．2）
☆ 浜益いっぺかだれや林道ウォークマラソン支援活動 （18．9）





いしかり森林ボランティア「クマゲラ」の歩み～3

☆ 花川北防風林保安林保全懇談会 （19・2）
☆☆ 夕張紅葉と桜の市民植樹祭（ニトリ）技術支援活動 （19・5）
☆☆ 地球温暖化対策市民セミナー （19・11）
☆☆ ミニ講座「おもしろい森の話」 （20・2）
☆ あつたふるさとの森づくりワークショップ （20・9）
☆☆ 冬山に行こう「かんじきづくり」講習会 江別市 （22・3）
☆☆ 生物の多様性についてセミナー （22・2）
☆ 森林セラピー・森林散策 （22・5）
☆☆ 花川南防風林保全について懇談 （22・5）
☆☆ いしかりまるごとフエスタ （22・8） 大人子供
☆☆ 商工青年会定例会「クマゲラ」報告会 （22・6）
☆☆ ミニ講座「庭木の病気について」 （23・3）
☆☆ 歌才「ブナ林」研修視察 （23・6）
☆☆ 楽天主催セミナー「クマゲラ」活動報告 （23・7）
☆☆ 森を歩こう （24・6）
☆ 「食と農」市民カレッジ きのこ野外教室 （24・10）

（三） 森林環境教育

① 道立札幌南高校学校林整備技術支援活動 （16・8）
② 江南小学校枯れ木処理支援活動 （16・11）
③ ふるさと探検隊ガイド支援活動 （17・7） 113名
④ 第2回クリスマスパーティー児童障害者 （17・11）
⑤ 緑苑台小学校総合学習会ガイド支援活動 （18・5）
⑥ ふるさとの森の扉を拓く子供達の集い （18・7）
⑦ さっぽろふるさとの森づくり植樹祭支援活動 （18・10）
⑧ 和かんじきづくり講習会「こころ風」障害者児童 （19・2）
⑨ アメリカ高校生交流交歓会森林施業支援活動 （19・7）
⑩ カミネツコン指導支援活動「20・4」 図書館
⑪ 浜益区学童キノシュ・カミネツコン実技指導 （20・11・2）
⑫ 寺子屋教室「木を育む」（23・1） 北コミセン
⑬ 石狩市立花川南小学校出前講座支援活動 （23・11）

五、地域活動のあゆみ

「クマゲラ」設立以降は、地域及び近郊の森林・環境・教育・ボランティア・機関団体などの各分野からの要請又は推薦などがあって地域の活動への参画・活性化・連携などのプレーが多くなり、市内のボランティア（森林）の中でも特異性と公共性をもつ団体として認知されつつあります。

森林保全施業・普及啓発に次ぐ、地域活動の重要性を再認識し、横の連携を図り、人脈のいしずえを確立したい。

地域内の諸活動状況を件名のみとして順をおって述べさせ戴きます。

＊ 石狩市花と緑の協議会 （役員）
＊ 石狩市「平和の灯火委員会」 （委員）
＊ 環境基本計画改定市民会議 （元委員）
＊ 石狩市第四期石狩市総合計画市民会議 （元委員）
＊ 石狩森林推進協議会委員 （市民代表）
＊ 石狩市公民館運営委員会 （元委員）
＊ 国土緑化推進委員会石狩 （委員）＝札幌市
＊ 道民の森づくりネットワークの集い委員会（委員）＝札幌市
＊ 石狩市『桜の会』 （世話人代表）
＊ あつたふるさとの森づくりワークショップ （構成員）
＊ 北海度森林保全推進員 （委員）＝北海道

石狩市森林推進協議会

石狩振興局管内森林
ボランテイア交流会

第58回全国植樹祭
天皇皇后臨席

六、「クマゲラ」安全衛生＆知識の習得　「講習ミニ講座」

これらに関しては『全くの素人集団』で森林施業の技も知識（ノウハウ）もないのが正直のところで、趣味又は幼少時代の経験がある程度ですから、一から十までの知識・技の習得が何より急務であった。

北海度石狩振興局主催・森林室又は北海道森と緑の会らの講座に積極的に参加する他、自主企画『講習ミニ講座』等を実施してきました。幸い大きな事故もなく今日に至り、安堵している。

今後とも緊張感と事故を絶対起さない決意のもと　①山仕事の備え　②「クマゲラ」活動の心得　③作業手順　④訓育　⑤健康を守りながら会員一丸となって《0災》を目指して励みたい。

知識の習得、技の習得には、何回でも繰り返し、向上を図るよう各々が創意工夫する手助けをしたい。

七、「クマゲラ」組織概要について

（一）会えて　よかった出会いにありがとう

「クマゲラ」設立平成15年9月発足の34名の仲間が「クマゲラ」の土台を作るという意欲と社会的責務を考えた時に不安材料も沢山ありました。

～しかし会員の燃える炎の勢いが増し今につなぐ～

私たちは、この10年の間に152が入会登録され礎となった。この人たちには「無理な誘いはしない」を心がけ、希望としては「クマゲラ」企画の諸事業を見学体験してから入会することを勧めております。

只、残念なことに、入会したが森林ボランティアと本人とのギャップから脱会者もあります。でもその中の今も「クマゲラ」を応援する人々を私たちの財産として大事にしていきたい。

会員数については、多い少ないで動揺することなくその時その時点の会員能力と機材、送迎など充分に考慮した運営するのが適策かと思う。

～礎の皆さんの出会いと、「クマゲラ」との出会いにありがとう～

（二）うちがわからの活動《組織運営》

内視鏡で診ると、組織内には、良い悪い、悪習良習あるのは組織か生きている証しでもあります。悪いところは治療し、良いところは残しながら時間をかけ、健全で元気ある組織にするのは私含め全員の共通の課題です。

～森づくりは人づくりの言葉を思い出して下さい～

前文を踏まえて、この10年間を振り返り、総括・反省・再点検してみる絶好のチャンスです。それが今後の「クマゲラ」が一回り大きく、二回り強く、三回り逞しく20年へ向けての道程を決めると思います。

（三）財政

活動の大動脈とも言える財政について、リーダーは常に思案、模索、研究、情報収集を図り、会の目標達成のため、会の運営が円滑に推進するための諸制度の活用を随時考えなければならない。

幸いに「クマゲラ」は、「ｋｋ ニトリホールディングス」北海道応援基金を3年間継続支援、「石狩市協働提案制度」採択事業、北海道森と緑の会、石狩市花と緑の協議会らからの心強い支援受けたことが今日の組織への発展となりました。

これらの各支援者の基金の目的は森林ボランティア活動を通じて社会貢献しなければならない、「クマゲラ」は責務を持っている。

今後自らも会員の英知を集め、情報収集と調査研究をすることが急がれます。

（四）役員体制・担当制・事務局について

内部体制では、種々担当制形式も充分機能していない点もみられます。何もかも現実には、決まり通りいかないのが実態です。それには様々な状況を会員が持ち、それ以上の負担と迷惑をかけられない。役員・担当・事務局員、これらの課題は、どこの組織も抱える事案で、一夜にして解決するものではありません。地道に努力し人材育成をすることが当面の策と思います。

ボランティアは、「平等」の負担を会員が分かち合い「仕事が多い少ない、責任が重い軽い」の論よりも、各自が私は「これができる」の一歩二歩前進の勇気ある行動に期待しています。

～組織はいきもの生死をきめるのは人、日々動く　それは明日へと～

ご協力に感謝とお礼

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、石狩市厚田区小谷「略称」千年の森・他13林班於いて、いしかり森林ボンティア「クマゲラ」設立十周年記念行事が開催にあたり、関係者各位の皆様に感謝とお礼の言葉を申し上げます。併せて、記念誌発行に際し、原稿依頼を始め、調査情報収集等のご負担ご協力をおかけし、重ねて感謝とお礼を申しあけます。

私たち、設立10年の節目に企画立案し、ここに無事に発行できます事を皆様と一緒に喜びたいと思います。

「クマゲラ」組織の集大成とも言える「誌」を目指し、努めましたが期待の内容か不安な点もありますが、素人の編集作業等の至らぬ点は、お許しください。

この誌を通じて、「クマゲラ」のあゆみ・すがた・記録・数値等から、この10年間批評又は評価して頂ければ幸いです。

「市民・道民」の手による森づくりを後世につなぐ「証」になられるよう期待しております。

いしかり森林ボンティア「クマゲラ」設立10周年記念行事準備委員会及び編集会議記念誌とりくみの経緯

Ⅰ 平成24年2月12日 設立10周年記念準備委員会開催―概要協議

Ⅱ 平成24年4月15日 「平成24年度定期総会」設立10周年記念行事開催決定

Ⅲ 平成24年7月8日 設立10周年記念準備委員会開催―概要骨子案決定

Ⅳ 平成24年8月31日 設立10周年記念準備委員会開催―具体的試案の決定

Ⅴ 平成24年11月18日 設立10周年記念作成編集会議開催―草案骨子決定

Ⅵ 平成25年1月27日 設立10周年記念誌作成編集員・準備委員会合同会議開催―草案から「案」への決定

Ⅶ 平成25年3月18日 設立10周年記念誌編集委員・準備委員・役員合同会議開催―成案決定

Ⅷ 平成25年4月14日 平成25年度「クマゲラ」定期総会に設立10周年記行事に関する議案審議承認をえる

Ⅸ その他（事務局「記念誌」業務）…会議草案文書構成写真イラスト枠組み等の一切処理

背景画…安達繁子

編集後記

言い訳しませんが、準備不足と時間との戦いで、今にして普段から心がけておれば、もっと期待に答えられるものが出来たかも知りません…。

まずは、前年度より設立十周年記念行事準備委員会・記念誌編集会議・役員会を経って定期総会の承認を受け、草案から成案の承認をえました。ここに、ご協力にお礼を申し上げ、完了報告と致します。また、草案から成案にいたる工程の監修・チェックを担当された、横山俊之・横山真理のお二人のご支援に感謝とお礼を申し上げます。…ありがとうございました…。最後に、この記念誌づくりに従事した者として、企画立案、構成、文書、草案、成案、写真、イラスト、語録…タイトルなどにお粗末な点は許しください。…本人は全力投球しました…関　勘悦

発行者　いしかり森林ボランティア「クマゲラ」
発行責任者　会長・事務局長　関　勘悦
事務所　住所　「クマゲラ」に関する問合わせ
〒061-3211 石狩市花川北3条5丁目182
TEL&FAX 0133-74-4502